

至昭和九年十二月三日

兼助三十五

陣中日誌

第七號

21869

獨立混成第十五聯隊第二大隊本部



十月五日(金)晴

一 對軍車肉以直院延期を以て

沖繩縣國頭郡

二 彈藥糧秣供給に礙りなく港に速次集積す

本部町字謝花

三 肉攻訓練用資糧若干を交付す

下達命令

一 大作命第四十一號 (別紙其ノ一)

人員

三十七名 陸軍馬小頭四員 重員ハ手紙出立

十月五日(土)曇

一 大隊長新務駐地偵察隊歸隊云々

謝

花 三 旅團作業隊員トシテ第三中隊ヨリ下士官一第三中隊ヨリ兵一増強 藤原少尉ノ指揮下ニ入ラシムニ

三 第三大隊先鋒班着陣在候 誤管ス 一三〇〇

受領

独立混成旅團 美田 大 武

独立五作命

三 旅團 機用 既停止ニシテ在候 機用 既停止ニシテ在候 機用 既停止ニシテ在候

三 旅團 機用 既停止ニシテ在候 機用 既停止ニシテ在候 機用 既停止ニシテ在候

三第大隊長倉倉納連務所並警備官等將隊官官兵

五十一月五日二〇時至納農林學校二氣遣送云々置入

四吉指子納連務所服務二尉三尉并尉指兩ヲ受命シテ

獨立連成義士隊隊長 美田大佐

下連法ヲ要旨書讀後印刷云々

配布先着各隊小隊二八人云々

警備報告 第一隊兵隊二八人中尉

軍馬三頭 軍馬太五匹

十月三日(曇) 第一機用銃中隊ヨリ小隊ヲ渡シ巴氣遣ルモ其出港迄

謝花 對空射擊二隊二〇〇 (機務員一)

二御大賜贈煙草傳達式ニ参加ス

三薩摩少尉ヨリ號演習先鋒隊合氣ヲ奉テ本隊ヨリ指示ス

六作命 第四十一號

第一大隊命令

一 聯隊十月二日以降作業隊要員ヲ新ニ編成ス

二 大隊左記人員ヲ派遣シ新ニ作業隊長ノ指揮下ニ令シテス

第一中隊 ヨリ 下士官 一

第三中隊 ヨリ 兵 一

三 左記人員十月二日〇六〇迄伊豆味國民學校ニ至リ藤原

少尉ノ指揮下ニ入ルベシ

四 細部ニ関シテ本人ニ指示ス

五 予ハ謝花國民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎大尉

下連法 要旨ヲ傳ヘタル後印刷配布
報 告 隊 本 部

四 中隊中隊及兵五五等隊總務所、派遣ス
五 第三大隊主力到着謝花國民學校ニ宿營ス本部炊事
ラシテ之ヲ給與シ担仕キ公認ス

受 領

六 移駐準備 獨混混成第十五命令 新態勢轉移カニ次駒込船場ヨリ丸七丸(三〇)本三

自正午頃渡及出港ス

二 聯隊ハ五五航次泊間對空掩護ニ任ルテ本隊及第三大隊

ニ燃料資材ニ部ヲ新移駐地輸送セシメ

丸七丸出港ニ留置ス。ト停渡部ハ第一營一兵五

三 第三大隊張ハ檢閲銃ヲ小隊ヲ本連正午迄ニ渡ルニ派遣

シテ丸七丸出港ニ對空掩護ニ任ズ

四 第三大隊張ハ檢閲銃ヲ本連正午迄ニ派遣部國民學校ニ差

出ス

五各隊各物搭敷卸下及監視等々在記人員ヲ本旨正午迄三本
部國民學校三差出第三大隊ヨリ差出將校指揮下迄三本

五
聯隊本部并士官一 第三發射銃中隊一分隊

第七中隊二分隊 聯隊砲中隊下士官一兵五

第八中隊二分隊 速射砲中隊下士官一兵五

第九中隊二分隊 工兵中隊 寺在宿及醫隊五分隊

六材料部材料積貯物搭敷ニ関シ工兵隊野戰病院依團
砲兵隊連絡スル共連絡ヲ納列着百五拾手納連絡所ニ

連絡シ材料積貯所新移駐地ニ分散集積スベシ
下達法ハ團長ヨリ團部希印制交付
美田大佐

西村信義
陸軍大尉

陸軍中尉
北村 公

陸軍少尉
大野 誠

陸軍少尉
山崎 實

陸軍少尉
野崎 實

陸軍少尉
藤本 武雄

陸軍少尉
近藤 實

陸軍少尉
高橋 實

正八位
高橋 實

四 陸軍曹長

高橋 榮

湯原 清

笠島 吉衛

仕陸軍准尉

陸軍軍曹

藤田 美男

堀田 和雄

今井 誠之助

三浦 鉄雄

相澤 太郎

青木 友治

内藤 久夫

伊藤 英雄

仕陸軍曹長

荒本 未儀

陸軍伍長

奥原 玉一

高橋 彌五衛門

村田 金次郎

伊藤 勇三

桐山 外二

高橋 宜之

三橋 又夫

佐々木 榮一

由井 滋男

出田 三太郎

野崎 夏樹

佐藤 正雄

石川 要

陸軍軍曹	大川惣太郎
七八省署	田中豊
九 聯隊本部	村田幾造
陸軍兵長	藤原尚
淡谷與七	宮下仙平
木村田鎌次	杉本正一
吉田竹男	武内正二
才三中隊	新保牙男

旅團ハ物資輸送機關連絡所ヲ名護及嘉手納ニ設置ス

二 大隊ハ嘉手納連絡所要員トシテ中村中尉指揮スル下士官一兵五十二月四日二〇〇道ニ嘉手納農林学校ニ派遣セントス

三 右要員トシテ第二中隊ヨリ下士官一第一第三中隊ヨリ夫々兵二第一機關銃中隊ヨリ兵一ヲ十二月三日一ニ〇〇道ニ本部國民學校ニ差出シ中村中尉ノ指揮下ニ入ラシムベシ

四 中村中尉ハ嘉手納連絡所ノ服務ニ関シ旅

團司令部付松井中尉指示ヲ受クベシ

五予ハ謝花國民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎大尉

下達法 傳令ニ依リ要旨ヲ傳ヘタル後印刷文付

既布知 各中隊

報告先 駱隊本部

一大作命 第四三號

第一大隊命令

謝、三、〇九〇〇



一、新機銃多クタノ渡久テ港ニ輸送船ガ五本三日止午頃入港ノ予定ナリ

二、大隊機銃銃一個小隊ヲ以テなせ丸碓泊間ノ對空掩護ニ任ゼントス

三、機銃中隊長ハ部下一個小隊ヲ本三日止午迄ニ渡久港ニ派遣シ該船出港時對空

掩護ニ任ゼシムヘシ

四、予ハ出港ハ四一五〇〇ト予定ス

予ハ謝花國民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎大尉

下達法 傳令ニ依リ要旨ヲ傳ヘタル後印刷文付

既布知 各中隊

報告先 駱隊本部

一、聯隊ハ新移駐地ニ偵察及設営ノ夕メ一部
ノ兵力ヲ派遣ス

二、大隊ハ左記人員ヲ五日〇八〇迄ニ聯隊本部ニ差出シ自動車ニ依リ新移駐地ニ先
行セシム

左

記

大隊本部 大隊長 下士官一 兵一
各中隊 中隊長 下士官一 兵二
但シ大、中隊長ハ一泊ノ後歸還ス

三、予ハ謝花國民学校ニ在リ
第一大隊長、野崎大尉

下連法 要旨ヲ伝タル後刷交付
配不先 各中隊
報告先 聯隊本部

第一隊 第二隊 第三隊 第四隊 第五隊 第六隊 第七隊 第八隊 第九隊 第十隊

第十一隊 第十二隊 第十三隊 第十四隊 第十五隊 第十六隊 第十七隊 第十八隊 第十九隊 第二十隊

第一隊 第二隊 第三隊 第四隊 第五隊 第六隊 第七隊 第八隊 第九隊 第十隊

第十一隊 第十二隊 第十三隊 第十四隊 第十五隊 第十六隊 第十七隊 第十八隊 第十九隊 第二十隊

下達命令
一 本隊命令
二 本隊命令
三 本隊命令
四 本隊命令
五 本隊命令
六 本隊命令
七 本隊命令
八 本隊命令
九 本隊命令
十 本隊命令

右本音島者護送ノ夕メ一泊ノ予定ヲ以テ名護町ニ出張
命六ノ
軍六ノ

人員 三十八名 軍馬二頭 軍火二匹

十月四日(晴)

一 勅諭奉讀式
二 八隊長訓示

謝
三 松尾軍医中尉ヲ受テ濁水所 掘井並改修並編譯所

受領
一 開設予定地等ヲ掌理部隊申送シテ存案其(三)
二 移駐準備

受領
一 獨立混成第十五隊隊目之命令
二 陸軍准尉 高橋() 榮
湯原 清
窪島番 衛

補佐混成第十五隊隊付
一 第七中隊 陸軍准尉 高橋 衛 榮

頭書ノ中隊付ヲ命ズ(十月一日付)

員
一 第八名 軍馬二頭 軍火二匹

謝
一 大隊長新移駐地 掘井並改修並編譯所

受領
一 機上機成第百五十五隊隊命令
二 機上機成第百五十五隊隊命令

受領
一 機上機成第百五十五隊隊命令
二 機上機成第百五十五隊隊命令

受領
一 機上機成第百五十五隊隊命令
二 機上機成第百五十五隊隊命令

受領
一 機上機成第百五十五隊隊命令
二 機上機成第百五十五隊隊命令

受領
一 機上機成第百五十五隊隊命令
二 機上機成第百五十五隊隊命令

三 移駐第一〇八十月六日

三 第三大隊長及第二第三大隊各隊長新陣地偵察

ハ十月五日ハ本部國民學校ニ集合シ自動車ヨリ新

駐地ニ先行ス

中隊長軍士官一兵ヲ同行セシム

四 各隊ハ德軍ニ作命第一號別冊移駐計畫ニ基クバキモ

中隊ハ小隊長ノ指揮スル約一ヶ小隊ヲ現今備地ニ残置シ荷物

ヲ追送ニ仕テ之ニ後ニ荷物ヲ共成ルベク速ク新移駐地ニ追

五 隊砲中隊ハ小隊長ノ指揮スル分隊ヲ部隊ト同行セシメ主

力ハ船舶輸送ヨリモトス

六 速射砲中隊ハ小隊長ヲ部隊ト同行セシメ船舶輸送ヨリモトス

七 本部及各隊ニ携行糧秣輸送、夕メ荷馬車各ニ配當ス

八 各大隊ハ新移駐地ニ於ケル糧秣及他引糧物件受領、

夕メ將校ヲ明日七日ハ本部國民學校ニ差出シ積駐

地ニ先行ス

九 今歸仁系謝花各隊備隊、残留者逐次荷物ヲ渡久地

附近ニ前進セシ、荷物集結後ハ本部國民學校ニ宿營

待機ス

十 藤本中尉殘留者ヲ指揮官トシ、追送ヲ区處ス

十一 第三大隊指揮官ヲ指揮スル各千名ヲ十月七日朝食后

本部國民學校ニ差出シ藤本中尉ノ指揮下ニテハ

十二月十日ハ渡久地移駐地ニ到ル

十二 下達法 要旨ヲ後ハ右印シテ入付

十三 配布 各 隊

報告通報先

十月八日金原

國領野恩村等

前線久

受

覺

主力前兼久到着宿營ス。〇三〇。

二内務廳備下命令ス。〇二〇。

三主力精機駐屯ニ向テ出陣。〇二〇。

一機上瀧原第百五隊隊命令。

一敵機動部隊未獲、算アリ。

本八日〇三。南西諸島内務廳備下命令ス。〇二〇。

二隊隊對空戰備ヲ準備ス。

三諸隊對空警戒戒至嚴シク共入員資材ノ被害ヲ絶無

ニシテ

四接應中部隊各區ニ檢テ對空警戒ニ徹底シ對空警戒戒ヲ至

五殘留諸隊ハ對空警戒戒ヲ至嚴ニシテ共ニ人員資材ノ待避

ヲ周到ニ敵空爆ニ對テ被害ノ絶無ヲ期ス。

下達法

町

報

檢

軍

敵

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

西端附近より上流西側勢頭南才桑江東才高地ニ至ル仲山
毒槍場ノ線直ニ堅固陣地ヲ占領スルニ以テ西高地ノ
北地区隊ヲ敷平並置シ注射ヲ以テ知花西側橋本ニ據
聖隊上ノ敷平並置熱田北端一島袋西南側一胡屋
東端一知花西端ニ以テ陣地ヲ築キ
又南才橋田上流東才橋田下流南才橋梁一熱田
端ニ以テ陣地ヲ築キ
三勇大隊右第線ニ以テ南才橋田下流東才橋田等
南側高地ニ直線ヲ以テ敷平並置シ又原東北才
松林高地ヲ前進陣地トシ占領シテ上ノ二部ヲ以テ西原西
才高地ヲ占領シ砲兵ノ觀測所ヲ掩護スルニ主力ハ明屋西側上
流才島袋北才高地ニ各堅固ナル據点ヲ構築スベシ
又小隊長ノ指揮ヲ約半個大隊ヲ以テ西側附近ヲ確保セ

四第三大隊ハ左第一線より右カナル部隊ヲ以テ佐久川南側
高地帯ヲ前進陣地トシテ占領セシメ敵ノ西海岸道迂回
ヲ阻止スルニ共ニ海軍第一砲台ヲ掩護セシメ主力ハ勢頭
南才九五高地又桑江東才高地及松原附近ニ各々據点ヲ
堅固ニ構築スル
仲山北側毒槍場北側△四六七高地△約一個小隊分陣地ヲ
構築スルニ共ニ砂辺北谷山岸ノ高地端ハ各々小隊兵力ヲ配
置シ主力ヲ海ノ邊ニ警戒監視スルニ共ニ陣地ヲ構築シ湯道
敷騎ニ任セム
五第一線大隊戦斗地域ノ境界ハ島袋一山内前各西端
一山内一上原一野里ヲ通スル片真線路及野原一嘉
手納道ヲ貫スル線トス
線ハ右大隊ニ属ス

大隊隊砲中隊前進陣地、戦士協同スルヲ宇久田西才及
野里南才地迄ヲ射撃、得ル知、吳富士東方附近三門分陣地
ヲ主力上地南才附近及標高九五高地ニ各一小隊分陣地構
築スル

三速射砲中隊、吳富士才向ヲ突進スル敵戦車ヲ阻止スルヲメト
地並正側標高一三標地附近二門分前進陣地ヲ又上原才向リ
突進スル敵戦車ニ對シ、山内西北才不正十字路附近及熱頭才向
ヨリ突進スル敵戦車ニ對シ、標高九五高地附近ニ各一小隊分
陣地ヲ構築スル

諸見里一瑞慶賢一正面以外ハ、狹速、担任トス
公兵中隊、山内前南端標高一三六高地、大隊戦士指揮所
構築ニ任ズルト共、彈藥糧秣資材格納、タノ山内附近
谷地ニ洞窟附掩蔽部ヲ構築スル

又、隊隊砲中隊速射砲中隊間ニ連絡、通信細ヲ構成シ
一四四又ハ、各前進陣地間ニ通信連絡ヲ設テ、構
又、各前進陣地及止地ニ隊間、無線ヲ準備スルト共、軍大
訓練軍砲、馴致ニ任ズル

一高地隊、隊員給水源、調査及水質検査及之ヲ標示ヲ担任シ
山内附近ニ患者收容所用、洞窟構築ヲ区處ニシ、共ニ地方
子青年團員ヲ以テ補助担架ヲ編成スル

一高地隊、主計官、隊員食糧、諸見里才中ハトシ、地域
、洞窟内ニ分故集積、現地自活地才物資、調査獲得ニ任
ズル

状況ニ依リ、名護附近ニ連絡所ヲ設テ、國頭地方物資ヲ取得
ニ任ズ
一、兵器、食糧、速次到着スル兵、彈藥、兵糧、資材、整備格

納ニ住シ山内諸見里附近ノ洞窟内ニ落網シ山内前附近ニ修理工
場ヲ開設ス

上ノ遺ノ島嶼ニ在リ後隊隊戰ヲ指揮前ニ移行ス

下達法 要旨ヲ伝テ細部指示シテ後印刷交付

配布先 各隊 海軍才一砲台

備忘 第六十二師團東北地区隊 T.A.P. 用
持設警備隊第三四中隊

南地区隊命令

一地区隊ハ夜間歸配屈セラル、自動貨車ヨリ隊隊砲又速射
砲、主カヲ守衛ニ招致セントス

二隊隊砲中隊長ハ明九日渡ス此ニ設置シ隊隊砲ノ主力及速
射砲ヲ自動貨車ニ依リ新設駐地ニ送リテシムベシ

三残留指揮官ハ前頭部隊掩護ノ多ク先夫ケ分隊ヲ隊隊砲中
隊長指揮下ニシムベシ

南地区隊長

美田大佐

下達法 要旨ヲ伝テ後印刷交付

配布先 各隊 海軍第一砲台

報告通報先 東北地区隊 T.A.P.

一達命令 一六作命第四十五號 一六隊命令(別紙其ノ六)

人員 三名(内主力三名 残留十四名 入院一名 隊外勤務一名)

二月九日(土) 雨

一主力越来国民学校到着 ○四○○

二各隊配宿完了 ○五○○

三大隊長各中隊長陣地ニ集ル會議實施 一○○○

米村宇上地

一達命令 一六作命第四十六號 第一六隊命令(別紙其ノ六)

大隊命令

一 大作命 第四七號 第一大隊命令 (別紙其ノ七)

大隊命令

第一中隊 陸軍上等兵 本澤 一

右軍司令部勤務ヲ命ス

依ッテ十二月十八日〇八〇。迄ニ聯隊本部ニ志村副官ノ指

示ヲ受クベシ

個人裝備ハ完備トス

十二月十日ヨリ左記ノ如ク旅団司令部衛兵服務スベシ

五 記

隔週ニ第一中隊ヲ建制順ニ一週間服務トス

(但シ機銃中隊ヲ除ク)

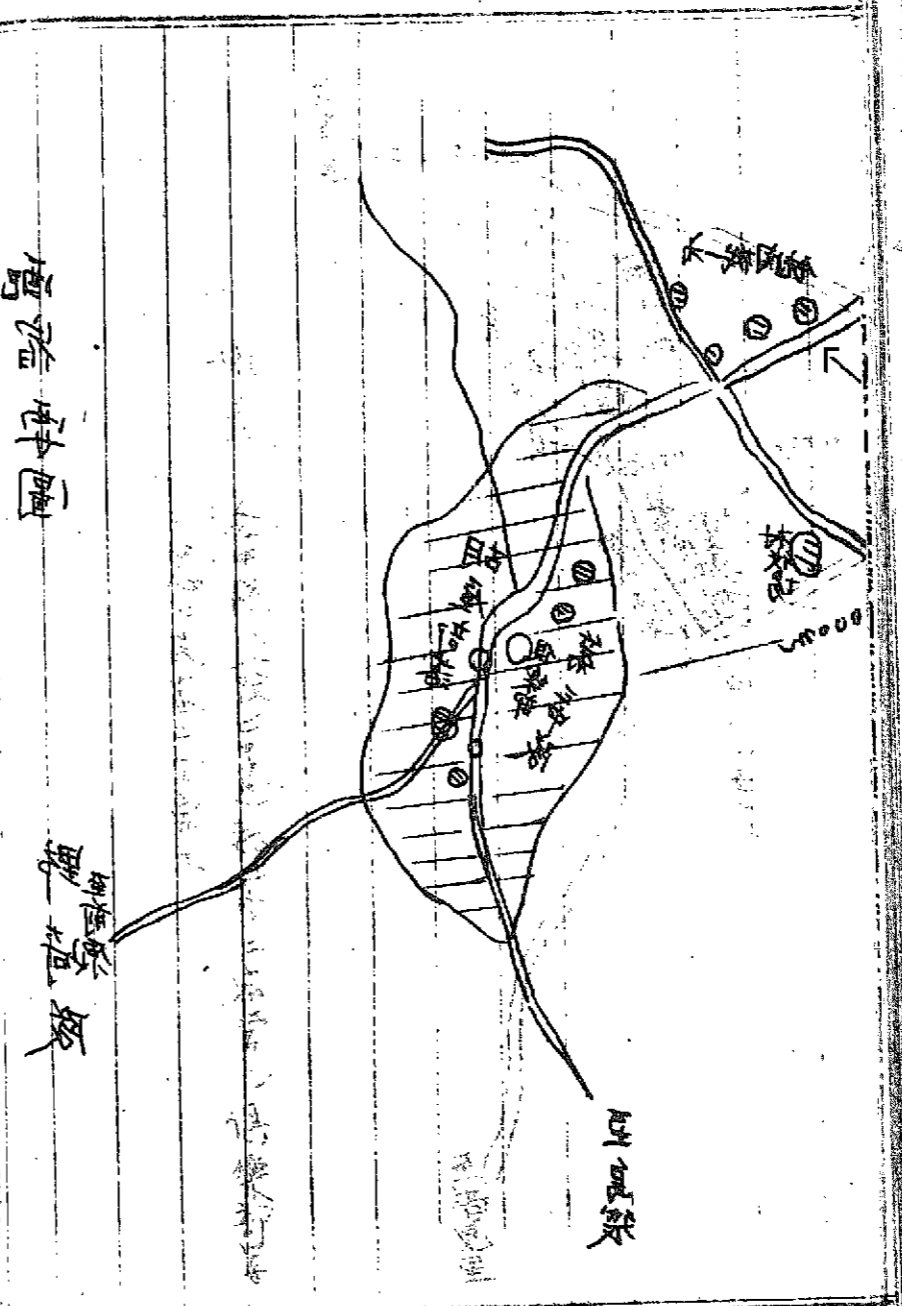
2. 服裝ハ軍装トシ各人彈藥30發推ヲ行スベシ

3. 編成司令歩哨班 喇叭手 各一

歩哨班トス



山ノ下ニ於テニ右記ノ如ク
山ノ上ニ於テニ左記ノ如ク
山ノ中ニ於テニ右記ノ如ク



野崎島地圖

第一大隊命令

前、八、〇、九

- 一、敵艦隊來襲ノ算アリ。本八〇〇三〇南西諸島内號駁備下令セラル
 - 二、大隊對空戰備ヲ強化シツシ移駐セントス
 - 三、各隊對空警戒ヲ至嚴ナラシムルト共、持三日間對空遮蔽ニ徹底セシムルト共ニ休宿固ニ於テ人員負傷被害ヲ絶無ナラシムルベシ
 - 四、殘留各隊對空警戒ヲ至嚴ナラシムルト共ニ、各隊宿舎ノ退避ヲ周到ニシ被害ヲ絶無ナラシムヘシ
 - 五、予ハ依然ト地ニ向テ前進ス
 - 野崎島 第一大隊長
 - 野崎 大尉
- 下達法 要旨ヲ伝ヘタル後印刷交付
配布先 各隊
報告先 聯隊本部

第一大隊命令

一九一六年 地

一 軍ハ情勢ノ变化ニ伴ヒ其ノ配備ヲ變更スルニ
 旅團ハ一部ヲ以テ敵ノ沖繩北及中飛行場ヲ占領
 ヲ妨害スルト共ニ主力ヲ以テ島袋周邊ノ高地帯ヲ
 確保シ軍主力ノ進出ヲ掩護ス
 情況ニ依リ軍主力方面ニ對スル機動ヲ準備ス
 金武灣及中城灣方面ニ對シテハ一部ヲ以テ敵ノ上
 陸ヲ妨害ス

二 駭隊ハ南地ニ隊上リ有カナル一部ヲ以テ竹下東
 方高地白川南方高地附近及佐久川南側
 高地ヲ前進陣地トシテ占領スルニ主力ハ胡屋西端
 附近ヨリ上地西側勢頭南方桑江東方高地ヲ

經テ仲山喜捨場ノ線ニ亘リ堅固ニ陣地ヲ構築ス

三、大隊南地区隊ノ右第一線トナリ竹下東方高地

ヨリ上原西側高地ニ亘リ前進陣地ヲ構築シ

主力ハ胡屋西側上地西側諸見里西側ノ各地

四、東地又隊及第三大隊並ニ北地又隊トノ戰鬥地

境左ノ如シ

東地又隊——第一大隊間

島袋西南端——胡屋東端——知花西端橋

梁線上ハ片ニ屈ス

第一大隊——第三大隊間

九、右第一線中隊及左第一線中隊ノ前置部隊ノ戰

斗地境左ノ如シ

上地——大工廻ヲ通スル片點線路

線上ハ片ニ屈ス

一〇、御子神大尉ハ本部ノ所要人員ヲ指揮シ諸見里

南側ニ大隊戰鬥指揮所ヲ構築スベシ

一一、松尾軍醫中尉ハ守備地又内給水源調査及

水質ノ検査並ニ之ガ標示ヲ実施スルト共ニ諸見里

附近ニ患者收容所用ノ洞窟ヲ構築スベシ

判ニ高級軍醫ト協定シ地才女子青年團員ヲ以

三、高木主計中尉ハ逐次到着スル糧秣資材ヲ諸見

テ救護班ヲ編成スベシ

里附近、洞窟内ニ分散集積スルト共ニ現地自活
地方物資、調査獲得等ニ任スベシ

三 御子神大尉ハ遂次到着スル兵器彈藥、整備格
納ニ任ジ諸見里附近、洞窟内ニ收容スベシ

四 予ハ暫ク上記國民學校ニ在リ、後入隊戦士指
揮所ニ移行ス

第一入隊長 野崎大尉

下達法

要旨ヲ伝ヘ現地ニ於テ各隊長ニ直接指示スル後

配布先 各中隊

報告通報先 我隊本部、東地区隊、北地区隊、大隊、NAS、松田砲兵

線上八行二層又

北地区隊 第一大隊間

比謝川ノ線

線上八行二層又

五

第三中隊ハ右第一線トナリ主力ヲ以テ竹下東

方ノ高地ニ竹下西南側高地ニ亘ル線及

西原西側岩山地帯ニ夫々前進陣地ヲ構築シ

北地区隊ト連絡及砲兵掩護ニ任ジ別ニ胡屋

西側高地ニ主陣地ヲ構築スベシ

六

第一中隊ハ中第一線中隊トナリ主力ヲ以テ上地

西側ニ主陣地ヲ構築スルト共ニ一個分隊ヲ以テ

100高地及上原北側松村高地ノ線ニ夫々前

進陣地ヲ構築スベシ

尚別ニ小隊長ノ指揮スル半個小隊ヲ以テ嘉嘉寺
納西側附近ヲ確保セシメ水釜附近ニ小數兵力
ヲ配置シ海上ヲ警戒監視セシムルト共ニ陽動部隊
ノタメ水際附近ニ陣地ヲ構築セシムベシ
該兵力ハ戦斗ニテ多ク大隊長ノ直轄トス

七 第二中隊ハ左第一線中隊トナリ諸見里西側ニ
主陣地ヲ構築スルト共ニ二個小隊ヲ以テ諸見里
部落内及山内北方高止ニ亘リ大隊ノ第二線陣
地ヲ構築スヘシ

八 第一機関銃中隊ハ二個分隊ヲ以テ100高止前カ
北又ニ射撃シ得ル如ク100高止附近ニ陣地ヲ構築

一 大隊命令 第一八隊命令
上ニ、九、一五〇〇
地

一 大隊當分間對空戰備ヲ強化セトス

二 各隊對空戰備ヲ至嚴クシテ夫常時一個小隊ヲ以テ對空射撃在
シ得ル如ク準備態勢ヲ在ラシム

三 六上地國民學校在リ
第一大隊長 野崎大尉

下達迄 印刷交付
聯隊本部

○依此類會。○此等放道言本國三朝。○去野國各處
○去野國各處。○去野國各處。○去野國各處。○去野國各處。

人員 三千八百名 內 守 衛 名 殘 留 土 野 者 六 院 一 名 隊 警 勤 務 一 名

○日 本 軍 二 萬 一 千 餘 人 參 軍 軍 曹 五 百 餘 人

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

○土 野 軍 官 一 名 參 軍 軍 曹 一 名 參 軍 軍 曹 一 名

依...
...

人員 二十八名
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

(2) 五年分兵隊 爆藥及檢閲日爆藥及檢閲日爆油(其具)

(3) 彈藥 隊隊砲彈藥 重砲彈藥 重砲及手榴彈

三 各隊軍需官(前哨官)統領(其具)及檢閲(其具) (即) 派久

地(派) 派久(其具) (其具) (其具)

式(其具) 南(其具) 隊(其具) (其具) (其具)

下(其具) 法(其具) 要(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具)

配(其具) 布(其具) 先(其具) 各(其具) 隊(其具) 海(其具) 軍(其具) 砲(其具) 令(其具)

報(其具) 告(其具) 通(其具) 報(其具) 本(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具)

報(其具) 告(其具) 通(其具) 報(其具) 本(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具)

一 第七中隊 陸軍軍曹 佐藤 宗 壽

二 第八中隊 陸軍軍曹 佐藤 宗 壽

右者軍司令部勤務命令

依(其具) 依(其具) 依(其具) 依(其具) 依(其具) 依(其具) 依(其具) 依(其具)

二 第三軍司令部勤務命令

一 第一第三大隊一團間交替服務スシ

2. 軍裝トシ各人彈藥三十發携行スハシ

3. 編成司令先哨隊(即) 砲隊(其具) 砲隊(其具) 砲隊(其具)

4. 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具)

○ 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具) 隊(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)

員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具) 員三十八名(其具)